

3年家庭科（MYP 4 Design）【技術・家庭：0.5単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他社の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

| MYP 評価観点 | |
|-----------|--|
| A：探究と分析 | i. 特定の顧客やターゲット層のためのソリューションの提供の必要性を説明し、正当化すること。 |
| | ii. ソリューション開発のために必要とされる一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけること。 |
| | iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること |
| | iv. 先行研究の分析を要約した、詳細なデザインブリーフを作成すること |
| B：アイデアの発展 | i. ソリューションのデザインに関する成功基準を明記した設計仕様書を作成すること |
| | ii. 他者が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数作成すること |
| | iii. 選択したデザインを提示し、なぜその案に最終決定したのか、その正当性を説明すること |
| | iv. 正確で詳細なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること |
| C：課題解決 | i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が詳しく述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること |
| | ii. ソリューションの製作に当たり、優れた技術的スキルを示すこと |
| | iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること |
| | iv. ソリューションの製作に当たり、選択したデザインや計画に対して変更を加えた場合には、それを完全に正当化すること |
| D：評価 | i. ソリューションの効果を測定するためのデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法をデザインすること |
| | ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、批判的に評価すること |
| | iii. ソリューションをどのように改善できるかを説明すること |
| | iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を説明すること |

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Design guide」に基づいています。

関連概念（デザイン n の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

| | | | |
|---------|-------|------|-------|
| 適合 | 協働 | 人間工学 | 評価 |
| 形 | 機能 | 革新 | 発明 |
| 市場とトレンド | ものの見方 | リソース | 持続可能性 |

※目標と評価規準は MYP Design5 のものを使用する。

年間計画

| 時期 | ユニット | 1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL | 学習内容・教材等 | 総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法 | 1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり |
|----------------|------|--|---|---|---|
| 前期 (4月～9月) | 2 | 1. コミュニティ 2. アイデンティティと関係性 3. 管理調整スキル、振り返りスキル | <p>【こどもをサイエンスしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の特徴は何か ・大人とはどのようなところが違うのか ・乳幼児の心身の発達のためには何が必要か <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭部分野</p> <p>【学習指導要領 A「家族・家庭生活」】</p> <p>(2) 幼児の生活と家族 ア(7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</p> <p>(1) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児視野メガネ ・絵本 ・幼児のおもちゃ ・等身大パネル(新生児、1歳児、3歳児) ・DVD「未知なる生命～ヒト」 ・新生児抱き人形 ・資料集 | <p>【A】探究と分析 ＜レポートテスト＞</p> <p>教材の鑑賞や体験を通して、乳幼児の発達の特徴を理解し、深い思考と理解ができる</p> | <p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能 -A</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 -A</p> <p>2. 道徳内容項目 D-19 生命の尊さ</p> |
| 後期 (10月～3月) | 4 | 1. コミュニティ 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーションスキル、協働スキル、創造的思考スキル | <p>【開成こどもプロジェクト】</p> <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭部分野</p> <p>【学習指導要領 A「家族・家庭生活」】</p> <p>(2) 幼児の生活と家族 ア(7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割</p> <p>(1) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方</p> <p>イ 幼児との関わり方の工夫</p> <p>(3) 家族・家庭や地域との関わり ア(7) 家族の協働と家族関係</p> <p>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践 ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画、実践、評価</p> | <p>【B】アイデアの発展 ＜個人レポート＞</p> <p>こどもをめぐる課題(遊び、環境、コミュニケーション)について資料を収集・選択し、効果的に用いて論理的に表現できる</p> <p>【C】課題解決 ＜成果物＞</p> <p>課題を解決するためのデザインを成果物として作成している(おもちゃ、絵本、動画、ポスター、パンフレットなど)(グループ)</p> <p>【D】評価 ＜ワークシート＞</p> <p>成果物を批判的に評価し、改善しようとしている(個人・グループ)</p> | <p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能-C</p> <p>②思考・判断・表現-B、C</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度-D</p> <p>2. 道徳内容項目 C-14 家族愛、家庭生活の充実</p> |